

— 脱炭素社会の実現を目指し、再生可能エネルギー活用を拡大します —

## PPAモデルを導入し、太陽光発電電力の活用を開始

マックスバリュ西日本株式会社（本社：広島県広島市南区／代表取締役社長：平尾 健一）は、マルナカ新倉敷店及びマルナカ中島店の2店舗にて、再生可能エネルギーの活用拡大に向け当社初のPPA「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」モデル(※)の導入を開始いたしますのでご案内申し上げます。

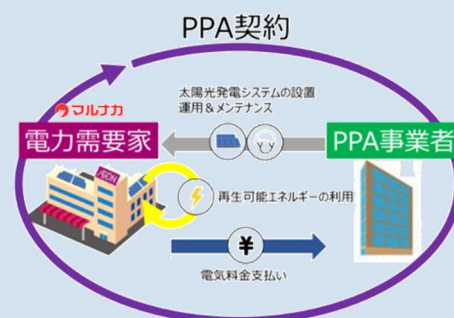
イオンでは、2018年に策定した「イオン脱炭素ビジョン2050」に基づき、店舗で排出する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>等）を、2050年までに総量でゼロにすることを目指し、グループを挙げて省エネの取り組みに加え、再生可能エネルギーの活用拡大に向けて取り組んでおります。現在、目標達成をより確実なものとするため、2030年までの新たな目標(※)を掲げ、前倒しで2040年を目途に店舗で排出する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>等）を総量でゼロにすることを目指しています。

当社では、目標達成に向けた取り組みの一環としてPPAモデルを導入し、屋上に設置した太陽光発電設備で発電したクリーンな電力を、施設内の電力の一部として使用していくことで、再生可能エネルギーの活用を拡大いたします。この度のマルナカ新倉敷店及びマルナカ中島店でのPPAモデル導入開始を皮切りに、太陽光発電電力の利用拡大を推進し、環境負荷を低減した店づくりを実現してまいります。

当社店舗におけるCO<sub>2</sub>発生源の約9割は電気使用であることから、店舗で使用する電力を再生可能エネルギーに切り替えることは、国内全体のCO<sub>2</sub>削減への貢献にもつながると考えられます。当社は、今後も地域に根ざしたスーパーマーケットとして持続可能な社会の実現を目指し、再生可能エネルギーの活用を始めとする脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

### ■ PPAモデルとは

「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」モデルの略。PPA事業者に敷地スペースを提供し、PPA事業者が設置した太陽光パネルで発電された電力を店舗が自家消費分として購入・活用する取り組みです。



(※)「イオン脱炭素ビジョン2050」中間目標 《2030年までの店舗再エネ導入計画》

店舗屋上などへの太陽光発電システムやPPAモデルの導入拡大、卒FIT電力の買取強化、各地域での再エネ直接契約を推進し、2030年までに、グループ内の国内店舗で使用している電力の50%を再生可能エネルギーに切り替えるという目標。

## ご参考

### <導入店舗と太陽光発電設備の概要>

対象施設	マルナカ新倉敷店	マルナカ中島店
所在地	岡山県倉敷市玉島爪崎981-1	岡山県倉敷市中島2780-1
敷地面積	約39,693㎡	約16,149㎡
延床面積	約13,839㎡	約9,196㎡
太陽光パネル容量	330kW	450kW
運用開始予定	2021年8月1日	

### <マルナカ中島店 屋上太陽光発電設備>



### <本契約のPPA事業者>

商号：MULユーティリティイノベーション株式会社

代表者：代表取締役社長 松本 義法

所在地：東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

事業内容：エネルギー関連事業に関する調査・企画・開発及び事業投資

### 【マックスバリュ西日本のSDGsの取り組み】

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。当社ではこの17の目標に向けて全社を挙げて取り組んでいます。この度の取り組みは、7、11、12、13、17の達成に貢献します。



### 【この件に関するお問い合わせ先】

マックスバリュ西日本株式会社 総合企画本部 広報部  
土居・佐久間 082-535-8516

